

講義コード	1BD0810001
講義名称	アントレプレナーシップ <春>
科目英文名	Entrepreneurship
開講責任部署	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科
代表ナンバリングコード	BUSA3770
単位数	2.0
時間割	春学期: 金曜日 2 時限
講義開講時期	春学期

担当教員

氏名	オフィスアワー	メールアドレス	研究室
◎ 稲田 優子	春学期 金4限 秋学期 月1限	yukoin@andrew.ac.jp	7F

授業形態	講義	実技	アクティブラーニング
	プレゼンテーション	グループワーク	実務経験のある教員による授業① スタートアップの経験のある教員が、その経験を活かして、アントレプレナーシップの基本的な知識と手法について講義する

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。		
	コメントシート 体験学習(実習、実験)	ディスカッション(話し合い) 協同・協調学習(グループ・ワーク、チームワーク、ペアワーク)	プレゼンテーション(発表) 課題解決

講義・演習概要	<p>アントレプレナーシップは、取り組むべき社会課題を自ら発見し、その解決策を考え出し、実行することで、社会に対して持続的に価値を創造することです。また、アントレプレナーシップは、個人の幸せや成長のために知識、ツール、思考を身につけ、行動することを促進します。</p> <p>本授業では、アントレプレナーシップに関して、個人で考えること、チームで活動することを通して、身近な題材で価値創造をするプロセスを経験します。その経験から、ご自身や仲間のことを知り、起業や起業思考、行動や実践すること、失敗や挑戦することの大切さを考えることを目的としています。</p>
学習(到達)目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.アントレプレナーシップ教育の概念を理解するることができる。 2.アントレプレナーシップの理論と実践を学習することができる。 3.身近な題材を自ら見つけ、新しい発想や創造することの楽しさや難しさを知り、価値創造をするプロセスを学習することができる。 4.個人学習により、自分を知ること、起業や起業思考、行動や実践、失敗や挑戦することの大切さを認識することができる。 5.協働学習により、相手の考えに耳を向け、他者を知ること、協力して目的を達成することができる。

講義・演習計画

回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	アントレプレナーシップ教育の意義と課題: 価値を創造する人材育成
第3回	アントレプレナーシップ教育の理論: 学習者の視点を中心に
第4回	ワークショップ1
第5回	欧米日におけるアントレプレナーシップ教育の比較:理論と実践
第6回	ワークショップ2
第7回	アントレプレナーシップ教育の効果検証: 理論と実践の重要性
第8回	ワークショップ3
第9回	アントレプレナーシップ教育における起業エコシステムの形成: 企業・団体・地域との持続的な協働と教職員の育成
第10回	ワークショップ4
第11回	アントレプレナーシップ教育の価値創造: 失敗と挑戦
第12回	ワークショップ5

第13回	アントレプレナーシップ教育の価値創造：探求と共創
第14回	ワークショップ6
第15回	総括・振り返り

成績評価の方法（コメント）	<ul style="list-style-type: none"> ・課題 30% ・学習事項レポート 60% ・授業への積極的な参加・貢献 10% <p>4回以上の欠席の場合、単位認定が不可の可能性あります。</p>
---------------	---

テキスト

	著者	タイトル	教科書購入区分	ISBN	出版社	備考
1.	稲田優子	アントレプレナーシップ教育		9784862833860	関西学院大学出版会	

事前および事後学習の指示	<p><事前学習> 自分でまとめて整理した講義内容やグループワークの内容を復習しておく。</p> <p><事後学習> 毎回の講義やグループワークで感じたこと再度、振り返る。</p>
--------------	--